

KVK

壁付サーモスタット式シャワー
FTB300K 〈各仕様共通〉

施工説明書1

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠

警告

「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

⚠

注意

「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫

してはいけない「禁止」の内容です。

❗

必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠

警告

🚫

禁止

湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

🚫

禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫

禁止

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫

禁止

配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫

禁止

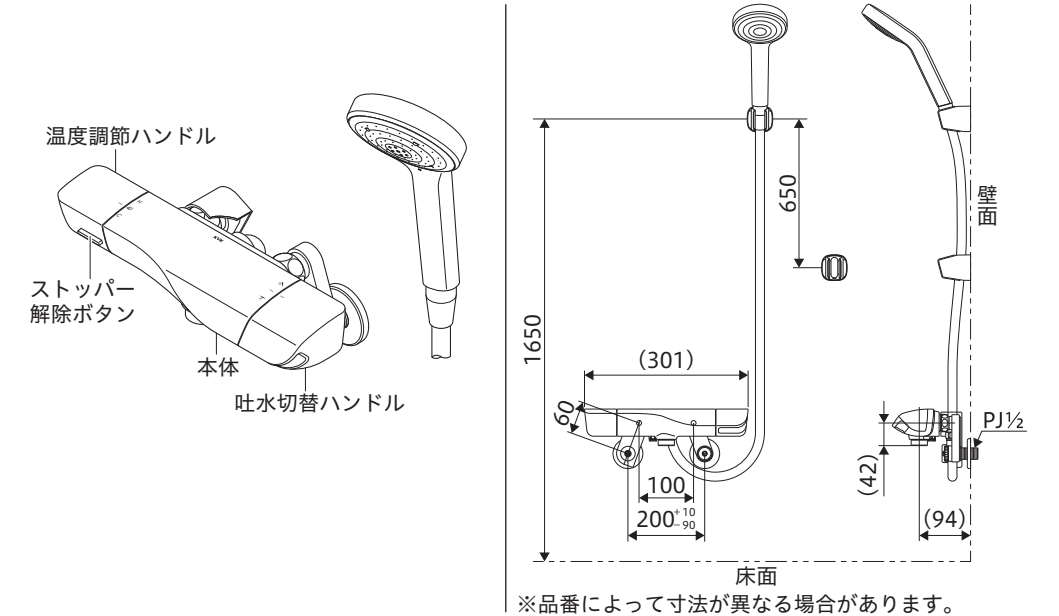
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

1 取り付け前に

- ① 使用水压〔A=（給湯器の最低作動水压）＋（配管圧力損失）〕
最低必要水压は、シャワーヘッドの仕様によって異なる場合がありますので、シャワーヘッドの説明書をご確認ください。
- （1）瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃／給湯器温度調節：高温／吐水温度：42℃／ハンドル全開）
〔比例制御式〕最低必要水压：A+0.05MPa(動水压)、最高水压：0.75MPa(静水压)
- （2）貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕最低必要水压：A+0.05MPa(動水压)、最高水压：0.75MPa(静水压)
- ② 吐水切替ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の設定温度は使用する吐水温度より高めに設定してください。給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(構成する部品以外の取り付けや部品の取りはずし等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑫ オートストップ(自動お湯はり)機能付きの給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても少量の水が出ることがありますが、異常ではありません。このような場合は、水栓のハンドルで水を止めてください。

2 取り付け完成図と各部の名称／寸法図

※品番によりセットされるシャワーヘッドが異なります。（イラストはFTB300KWFHST）



⚠

警告

❗

必ず実行

スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。
器具が破損してやけど・漏水のおそれがあります。

❗

必ず実行

温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。
使用条件によっては目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。

❗

必ず実行

ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。
高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠

注意

🚫

禁止

器具に強い力や衝撃を与えないでください。
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫

禁止

めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。
鋭利な物や硬い物を当てないでください。
めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。

🚫

禁止

めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等の不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。
めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。

❗

必ず実行

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。

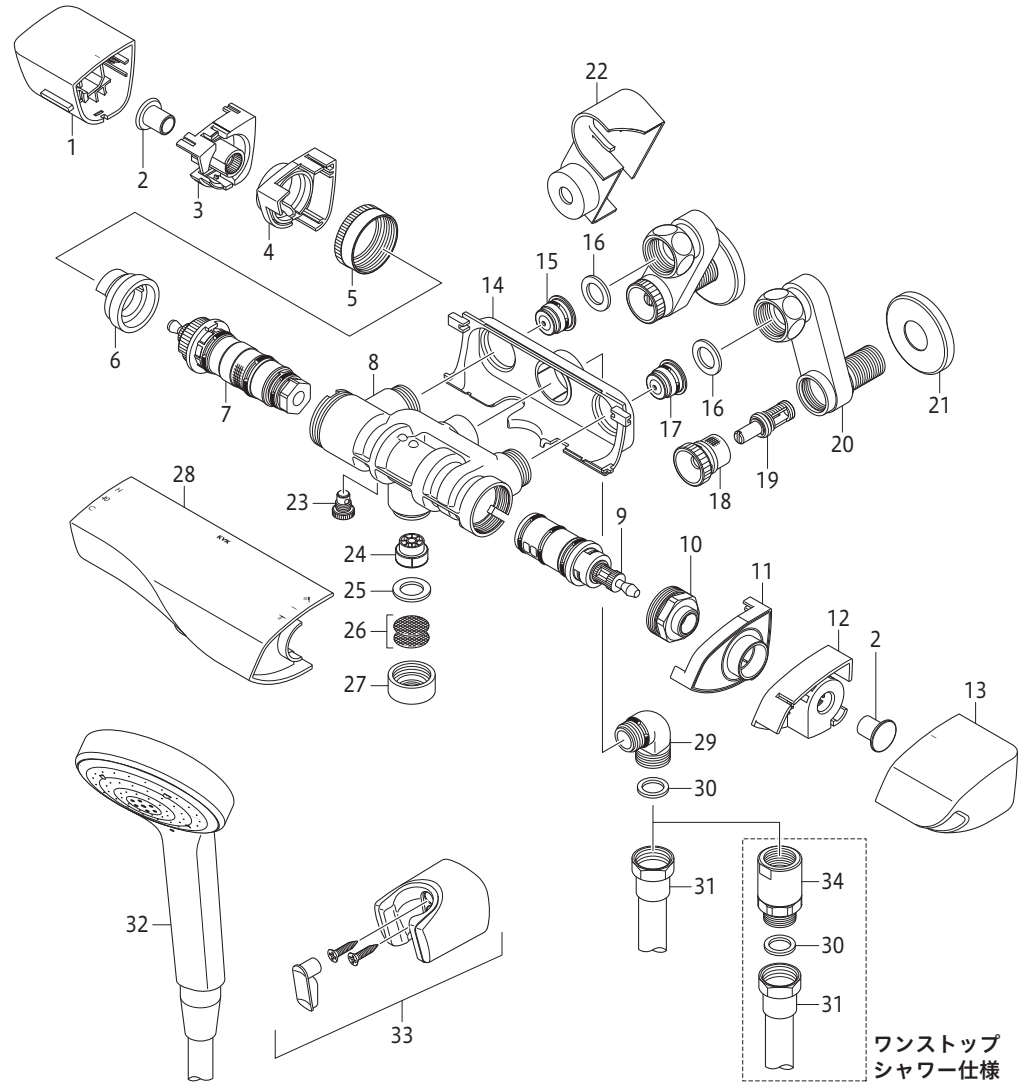
❗

必ず実行

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

3 分解図(部品の形状は仕様により異なります)

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



1 温度調節ハンドル	11 切替カラー	21 送り座	31 シャワーホース
2 キャップ	12 切替インナー	22 ソケットカバー	32 シャワーヘッド
3 温調インナー	13 吐水切替ハンドル	23 水抜き栓	33 シャワーハンガー
4 温調カラー	14 バックカバー	24 水切	34 減圧装置
5 温調固定ナット	15 湯側逆止弁	25 パッキン	
6 ストップリング	16 パッキン	26 ストレーナ	
7 サーモスタットカートリッジ	17 水側逆止弁	27 整流器キャップ	
8 本体	18 ストレーナ	28 トップカバー	
9 一時止水付切替弁ユニット	19 止水弁	29 シャワーエルボ	
10 切替固定ナット	20 ソケット	30 パッキン	

4 取り付け手順

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け

① ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。

【お願い】 ・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調整してください。)
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。

△ 注意

締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉上から見た図

① 垂直にねじ込む

湯側ソケット

水側ソケット

パッキン面を揃える

② 接続

パッキン

本体

〈図2〉前から見た図

ハの字にする

湯側ソケット

水側ソケット

3 ソケットカバーの取り付け

ソケットカバーを湯側ソケットに取り付けます。
止水弁の位置にはめ込んでから、時計回りに回します。
この時、ソケットカバーのツメがナットの後ろにくるようにはめ込んでください。

ソケットカバー

ツメ

ナットの後ろに

湯側ソケット

止水弁の位置

4 シャワーホースの接続

① [ワンストップシャワー仕様のみ]

シャワーエルボと減圧装置の間にパッキンをはさみ、減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせて、モンキーレンチなどで確実に行ってください。

【お願い】 ・締め付ける際は傷が付かないようあて布等をしてください。
・シャワーヘッド本体の損傷を防ぐため、必ず減圧装置をシャワーエルボに取り付けてください。減圧装置を取り付けないと、シャワーヘッド本体が損傷するおそれがあります。

② シャワーエルボまたは減圧装置とシャワーホースの間にパッキンをはさみ、シャワーホースを取り付けます。

【お願い】 締め付ける際は傷が付かないようあて布等をしてください。

シャワーエルボ

パッキン

減圧装置

① 取り付け

ワンストップシャワー仕様

② 取り付け

シャワーホース

5 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

5 ページ

5 取り付け後の点検と清掃 1

5-1 通水確認

△ 注意

水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓からの水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

5-2 ソケットのストレーナ清掃のお願い

ソケットのストレーナは施工後必ず清掃してください。ソケットのストレーナにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、希望する吐水温度にならない場合があります。

△ 警告

・ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。
ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

① 湯水全開で20～30秒吐水させます。

② 湯水の止水弁〔2か所〕または元栓をしっかりとめて、ハンドルを操作して湯水が出ないことを必ず確認してください。

③ ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。

④ 湯側・水側のストレーナ〔2個〕を取りはずします。

⑤ ゴミ・水あか等を洗い流します。

湯側ソケット

湯側止水弁

②-1

②-2 止水確認

水側止水弁

②-1 しめる

ソケットカバー

③ はずす

④ はずす

ストレーナ

歯ブラシなど

⑤ 清掃

ストレーナ

清掃後は、はずした逆の手順で組み込んでください。
ストレーナを締め込む時は、吐水切替ハンドルを吐水口側にしてください。

5-3 吐水口のストレーナ清掃のお願い

吐水口のストレーナは施工後必ず清掃してください。
吐水口のストレーナがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。

① 湯水全開で20～30秒吐水させます。

② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。

③ ストレーナをブラシで水洗いします。

吐水口

パッキン

ストレーナ(2個)

整流器キャップ

② はずす

歯ブラシなど

③ 清掃

ストレーナ

【お願い】

水洗いするときは、吐水切替ハンドルをゆっくり回し、少量の水で行ってください。
吐水切替ハンドルを急にいっぱいまで回すと、水切がはずれることがあります。
はずれた場合は、吐水口に奥まで確実に組み込んでください。

吐水口

奥まで差し込む

水切

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

5 取り付け後の点検と清掃 2

5-4 サーマスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジは施工後必ず清掃してください。
サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりします。

△ 警告

サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水弁(2か所)または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを確認してください。

【お願い】 温度調節ハンドルをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。

③ 温度調節ハンドルと吐水切替ハンドルをはずします。
精密ドライバーをハンドル下側の切り欠きに差し込み、つめをはずした状態でハンドルを引き抜いてください。はずしにくい場合は、精密ドライバーを差し込んだ状態で、ハンドルを下方向に押さえながら引き抜いてください。

※ 切り欠きの位置を確認する際は、温度調節ハンドルは水側に回してください。ストッパー解除ボタンを押して回した状態では、温度調節ハンドルが抜けません。
吐水切替ハンドルはシャワー側に回してください。

★ハンドルのはずし方

② 薄い布をかぶせる切り欠き

③-1 差し込みつめをはずす

【はずしにくい場合】

下方向に押さえる

温度調節ハンドル

③-2 はずす

切り欠き

③-2

吐水切替ハンドル

【★参照】

④ 切替・温調両側のキャップをはずします。
切替側のキャップは、精密ドライバーをキャップとインナーのすき間に差し込んではずしてください。

⑤ 切替・温調両側のインナーとカラーをはずします。

キャップ

温調インナー

温調カラー

④ はずす

⑤-1 はずす

⑤-2 はずす

切替カラー

切替インナー

キャップ

7 ページ

⑥ トップカバーの上両端を持ち上げて、バックカバーとトップカバーのつめをはずし、トップカバーを手前にずらして取りはずします。

バックカバー

つめ

トップカバー

⑥-1

トップカバーの上両端を持ち上げて、つめをはずす

⑥-2 はずす

トップカバー

⑦ 温調固定ナットとストッパーリングをはずします。

⑧ サーマスタットカートリッジを取りはずします。
(はずせない場合は、温調インナーとキャップをはめた状態で引き抜いてください。この時、温度調節ハンドルは回転させないでください。)

⑨ サーマスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

⑦-1 はずす

⑦-2 はずす

⑧ はずす

⑨ 清掃

温調固定ナット

ストッパーリング

サーモスタットカートリッジ

歯ブラシなど

サーモスタットカートリッジ

【サーモスタットカートリッジがはずせない場合】

1. 固定ナットとストッパーリングをはずした後、サーモスタットカートリッジに温調インナーとキャップのみを取り付けます。

2. 温調インナーを引き抜きます。

キャップ

温調インナー

サーモスタットカートリッジ

1.

1.

2.

温調インナー

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 組み立て時、下記に注意してください。

・サーモスタットカートリッジは奥まで確実に挿入する

・温調固定ナットはプライヤー等で確実に締め付ける(A図)

・トップカバーははずれやがたつき等がないよう確実に取り付ける

・温調インナーは基準線を目盛「40」に合わせてはめる(B図)

・取り付け後、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してから使用する

【組み立て時(A図)】

締める

プライヤー等

温調固定ナット

【組み立て時(B図)】

基準線

目盛「40」

合わせてはめる

温調インナー

8 ページ

405891-00

5 取り付け後の点検と清掃 3

5-5 一時止水付切換弁の交換方法

一時止水付切換弁は下記の方法で交換してください。

- ⚠ 警告

一時止水付切換弁の交換は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。
一時止水付切換弁をいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水弁（2 か所）または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを確認してください。
【お願い】 温度調節ハンドルをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。

③ 温度調節ハンドルと吐水切替ハンドルをはずします。
精密ドライバーをハンドル下側の切り欠きに差し込み、つめをはずした状態でハンドルを引き抜いてください。はずしにくい場合は、精密ドライバーを差し込んだ状態で、ハンドルを下方方向に押さえながら引き抜いてください。

※ 切り欠きの位置を確認する際は、温度調節ハンドルは水側に回してください。ストッパー解除ボタンを押して回した状態では、温度調節ハンドルが抜けません。
吐水切替ハンドルはシャワー側に回してください。
-
- 9 ページ
- 5 取り付け後の点検と清掃 4
- 5-6 温度調節ハンドルの設定方法
- 工場出荷時に温度調節をしています。使用条件（給水・給湯圧力、給水・給湯温度）により目盛通りの吐水温度にならない場合があります。
温度調節ハンドルの目盛と吐水温度がずれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。
KVK修理受付センターにおいても温度調節ハンドルの設定を承りますが、有料作業となります。
- 温度調節ハンドルの設定前に確かめてください

▶

・止水弁はあいているか

・ストレーナにゴミづまりがないか

・給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定されているか

【お願い】 温度調節ハンドルをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

① 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。

② 温度調節ハンドルをはずします。
精密ドライバーを温度調節ハンドル下側の切り欠きに差し込み、つめをはずした状態でハンドルを引き抜いてください。ハンドルがはずしにくい場合は、精密ドライバーを差し込んだ状態で、温度調節ハンドルを下方方向に押さえながら引き抜いてください。

※ 切り欠きの位置を確認する際は、ハンドルを水側に回してください。ストッパー解除ボタンを押して回した状態では、温度調節ハンドルが抜けません。

③ 吐水切替ハンドルをシャワー側へ回し、全開吐水で目盛に関係なく適温（約40℃）のお湯が出るところまで、温調インナーを回します。

⚠ 注意

温調インナーを操作する際は、無理に操作したり強く握ったりしないでください。
破損やけがのおそれがあります。

④ キャップをはずします。

⑤ 温調インナーを回転させないようにはずします。

⑥ 温調インナーの基準線を目盛「40」に合わせてはめます。

⑦ キャップで温調インナーを固定し、温度調節ハンドルをはめます。

【お願い】 取り付け後は、温度調節ハンドルの表示ポイントが目盛「40」の位置で、吐水温度が適温（約40℃）になっていることを確認してからご使用ください。

※ 目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。

5-7 流量の調節方法

流量が多すぎる場合などは、止水弁を操作して流量を調節してください。
時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。
また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量になります。

➡ 取扱説明書「ご使用の前に」参照

11 ページ

施工説明書2

⑥ トップカバーの上両端を持ち上げて、バックカバーとトップカバーのつめをはずし、トップカバーを手前にずらして取りはずします。

新しい一時止水付切換弁ははずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 組み立て時、下記に注意してください。

・一時止水付切換弁は奥まで確実に挿入する

・切替固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付ける（A図）

・トップカバーははずれやがたつき等がないよう確実に取り付ける

・温調インナーは基準線を目盛「40」に合わせてはめる（B図）

【組み立て時（A図）】

⑧ ⑦ ⑧ ⑦

一時止水付切換弁

切替固定ナット

モンキーレンチ等

締める

【組み立て時（B図）】

基準線

目盛「40」

合わせてはめる

温調インナー

10 ページ

6 故障かなと思ったら

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ
湯水が止まらない	吐水切替ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切替ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書12ページ「湯水を止める」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない （シャワーが弱い）	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	取扱説明書 8 ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6 ページ「ストレーナ清掃のお願い」
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	取扱説明書 8 ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	取扱説明書 8 ページ「流量の調節方法」
	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	取扱説明書 8 ページ「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6 ページ「ストレーナ清掃のお願い」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	11 ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6 ページ「ストレーナ清掃のお願い」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に設定し、水側止水弁を絞ることで、改善される場合があります		—

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

⚠ 注意

修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

12 ページ